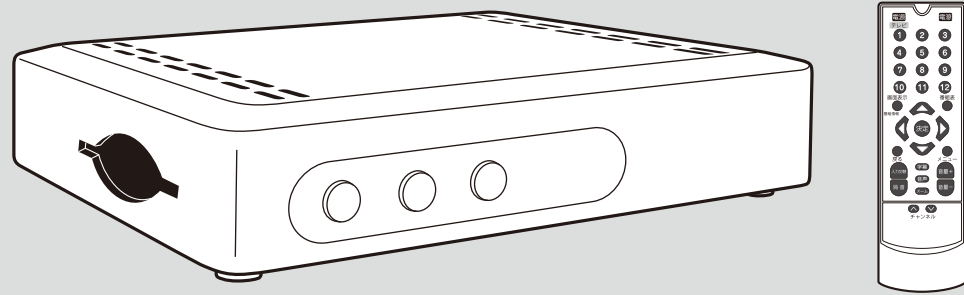
SMS

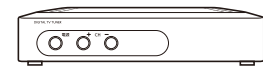
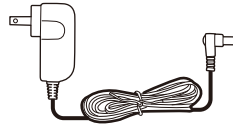
CDT15-V01
DIGITAL TV TUNER
地上デジタルチューナー

取扱説明書

この度は弊社製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございました。必ずこの取扱説明書を最後まで
お読みになり、正しくご使用ください。この説明書は、ご使用になる方が大切に保管してください。

ケーブルテレビの放送をご利用の方へ

本製品は、パススルー方式を採用しているケーブルテレビの地上デジタル放送に対応しています。
詳しくは各ケーブルテレビ会社にお問い合わせください。

梱包内容

保　証　書

無料修理規定

1. 取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書に従った使用状態で、保証期間内に故障した場合のみ、無料修理いたします。
2. 保証期間内でも次の場合には有料修理となります。
   (イ)使用上の誤り、または、自己修理、分解、調整、改造等による故障及び損傷
   (ロ)お買い上げ後の輸送、移動、落下等による故障および損傷
   (ハ)火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害、塩害、異常電圧、水掛り等による故障及び損傷
   (二)消耗または摩耗した部品、付属品の交換
   (ホ)本書のご提示がない場合
   (ヘ)本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入がない場合、あるいは文字を書きかえられた場合(但し、販売シールや領収書でも未記入項目の代用となります)
   (ト)本品本来の用途以外に使用された場合の故障及び損傷
   (チ)一般家庭用以外(例:業務用、または業務用に準ずる使用方法)で使用された場合の故障及び損傷
3. ご贈答、ご転居等で本保証書に記入のお買上げ販売店に修理をご依頼になれない場合は、弊社修理ご相談センターにお問い合わせください。
4. 本書は日本国内においてのみ有効です。This warranty is valid only in japan.
5. 本書は再発行いたしませんので紛失しないよう大切に保管してください。

商品名／型番	地上デジタルチューナー　／　CDT15-V01
お買い上げ日	年　月　日
保証期間	本体1年間(お買い上げの日から)
お客様	お名前　様
	ご住所　〒　- 電話　(　)
販売店	住所　店名　電話 印

(注)記入のない場合は無効となりますので、必ずご確認ください。

※この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。
※この保証書によって保証書を発行している者(保証責任者)、及びそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。
※保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、お買上げの販売店または弊社修理ご相談センターにお問い合わせください。
※お客様にご記入いただいた保証書の内容は、保証期間内のサービス活動及びその後の安全点検活動のために記載内容を利用させていただく場合がありますので、ご了承ください。

販売元
ウイルコム株式会社

製造元
株式会社住本製作所
〒675-1325
兵庫県小野市樫山町大蔦1455

製品に関するお問い合わせは
通話無料 0120-92-7312
電話受付 9:00～17:30※土曜・日曜・祝日及び年末年始は除きます

安全上のご注意　必ずお守りください

■人への危害、財産への損害を未然に防ぐため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

⚠警告	「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。
⚠注意	「傷害を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■お守りいただく内容を、次の図記号で説明しています。(下記は図記号の一部です)

してはいけない内容です。

実行しなければならない内容です。

⚠警告

●分解や改造をしない、カバーを外さない
火災や感電の原因となります。内部の点検や修理は、お買い上げの販売店にご依頼ください。

●電源コードを傷つけない
電源コードを傷つけると、火災や感電の原因となります特に、次のことに注意してください。
・電源コードを加工しない　・無理に曲げない、ねじらない、引っ張らない
・熱器具に近づけない　・家具などの重い物をのせない。

●本機の上に火のついたものを置かない
火のついたローソクなどを置くと、火災の原因となります。

●本機の中に物を入れない
金属物や燃えやすいものが入ると、火災や感電の原因となります。

●表示された電源電圧(交流100ボルト)以外で使用しない。
表示された電源電圧以外では、火災・感電の原因となります。本機を使用できるのは日本国内のみです。

●本機の上に水などの入った容器を置かない
花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬品など水の入った容器を置かないでください。こぼれたり、中に水が入った場合は、火災や感電の原因となります。

●風呂場やシャワー室では使用しない
本機の中に水が入ると、火災や感電の原因となります。

●雷が鳴り出したら、アンテナ線や電源プラグに触れない
感電の原因となります。

●万一、次のような異常が発生したときはすぐに使用をやめる
・煙が出ていたりへんなにおいがするとき　・内部に水や異物が入ってしまったとき
・落としたり、破損したとき　・電源コードが傷んだとき(芯線の露出や断線など)
すぐに電源を切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。このような異常が発生したまま使用していると、火災や感電の原因となります。煙が出なくなるのを確認してから販売店に修理を依頼してください。お客様による修理は危険ですから絶対におやめください。

●電源プラグは根元まで確実に差し込む
差し込みが不完全だと、発熱したりほこりが付着して火災や感電の原因となります。また、たこ足配線も、コードが熱を持ち危険ですのでしないでください。

●電源プラグは定期的に清掃する
電源プラグとコンセントの間に、ゴミやほこりがたまって湿気を吸うと、絶縁低下を起こして、火災の原因となります。定期的に電源プラグをコンセントから抜き、ゴミやほこりを乾いた布で取り除いてください。

⚠注意

●電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らない
電源コードを引っ張ると、コードに傷がつき、火災や感電の原因となることがあります。電源プラグを持って抜いてください。

●置き場所に注意する
次のような所に置くと、火災や感電の原因となることがあります。
・調理台や加湿器のそばなど　・油煙や湯気が当たる所　・湿気やほこりの多い所
・熱器具の近くなど高温になる所　・窓ぎわなど水滴の発生しやすい所

●ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かない
バランスがくずれて倒れたり、落ちたりして、けがの原因となることがあります。

●ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない
感電の原因となることがあります。

●長期間使用しないときは、電源プラグを抜く
電源が切れているときでも本機には、わずかな電流が流れています。安全および節電のため、電源プラグをコンセントから抜いてください。

●お手入れをするときは、電源プラグを抜く
電源が切れているときでも本機には、わずかな電流が流れています。電源プラグがコンセントに接続されていると、感電の原因となることがあります。

●移動するときは、接続したコードや電源プラグを抜く
接続したまま移動すると、コードが傷つき、火災や感電の原因となることがあります。

●可動部の作動中には無理な操作を加えない
一つの動作が終了してから、次の操作に移ってください。誤動作や故障の原因となることがあります。

●本機の上に重いものを置かない
テレビなどの重い物や本機からはみ出るような大きな物を置くと、バランスがくずれて倒れたり、落ちたりして、けがの原因となることがあります。

●電池の取り扱いに注意する。
電池の取り扱いを誤ると、電池が破裂したり、液もれして、火災・けがや周囲を汚す原因となることがあります。次のことに注意してください。
・指定以外の電池を使用しない　・新しい電池と一度使用した電池を混ぜて使用しない
・種類の違う電池と混ぜて使用しない　・電池のプラス(+)とマイナス(−)を間違えない
・電池のプラス(+)とマイナス(−)をショートさせない　・電池を加熱しない　・分解しない
・火や水の中に入れない　・直射日光の下や火のそばなど、熱くなる場所に置かない
・長期間使わないときは、電池を取り出しておくもし、電池が液もれをしてしまったときは、電池ケースについた液をよく拭きとってください。万一、もれた液体が身体についたときは、水でよく洗い流してください。使い終わった電池は、自治体の指示に従って廃棄してください。
・乾電池は充電しない。

使用上のご注意

■本製品は一般家庭用に設計・製造されています。一般家庭用以外(長時間の使用、車両、船舶などへの搭載)で使用すると、故障の原因となります。
■本製品は日本国内での使用を前提に設計、開発されています。海外での使用は保証いたしかねます。
■本製品は、社団法人電波産業会(ARIB)が定める規格に準拠した仕様になっています。将来、規格の変更があった場合は、予告なしに仕様を変更する場合があります。
■本製品とお持ちの機器を接続して録画や録音する場合、個人で鑑賞する場合のみお楽しみいただけます。著作権法上、権利者に無断で使用することは禁止されています。
■アナログテレビに接続することを前提とした製品のため、仕様上、地上デジタル放送本来の画質・音質は再現できません。
■本製品とお持ちの機器を接続して録画する場合、本機の不具合等により、録画できなかったときなどの補償はいたしかねます。
■本製品の不具合により視聴できなかった場合や、ソフトウェアの更新により、情報が消失した場合などの補償はいたしかねます。
■通電状態での B-CAS カードの抜き差しにより、映像、音声、その他の情報が受信できなかった場合の補償はいたしかねます。
■B-CAS カードを紛失、破損などされた場合は、B-CAS カードのカスタマーセンターにお問い合わせください。
■UHFとその他の放送(BS放送など)が混合された放送波を受信している場合、特定のチャンネルを受信できないことがあります。この場合は分波器を使用して接続してください。

製品仕様

本　体

項目		仕様
受信方式		地上デジタル放送
地上デジタル放送受信チャンネル		UHF13ch～62ch　CATVパススルー対応(90MHz～770MHz)
アンテナ入力		F型コネクター
出力端子	映像	コンポジット映像端子(RCAピン端子)
	音声	ステレオ音声端子(RCAピン端子)
電源		AC100V　50/60Hz　DC5V

項目	仕様
消費電力	4.7W(スタンバイ時:0.4W)
本体サイズ/質量	約 163(W)×130(D)×32(H)mm / 約 270g
動作環境	温度0～40℃　湿度10～80%(結露無きこと)
電子番組表	3日分
付属品	B-CASカード、リモコン、AVケーブル、ACアダプター、取扱説明書/保証書

リモコン部分

項目	仕様
使用電源	単4形乾電池(別売)
外形寸法	約 47.5(W)×21.5(D)×177(H)mm
質量	50g(乾電池除く)

各部の名称とはたらき

前 面

電源ボタン
電源をオン/オフします。

チャンネルボタン
チャンネルのアップ・ダウンをします。登録されているチャンネルを順番表示します。

電源ランプ
電源が入っているときはランプが緑に点灯します。
電源が入っていないときはランプが赤く点灯します。

リモコン受光部
リモコンはここに向けて操作してください。

背 面

アンテナ入力端子
地上波デジタルアンテナとケーブルで接続します。

電源入力端子
付属のアダプターを接続してください。

出力端子(映像+音声)
付属のAVケーブルでテレビと接続します。
赤:音声出力(R)／白:音声出力(L)／黄:映像出力

右側面

B-CASカードスロット
付属のB-CASカードを挿入するスロットです。

リモコン

テレビ電源ON/OFFボタン
テレビの電源をオン/オフします。※テレビを操作

数字ボタン
見たいチャンネルを選びます。

画面表示/番組情報ボタン
現在のチャンネル情報を表示します。番組表画面では番組詳細を表示します。

決定ボタン
選択を決定します。

戻るボタン
前の画面に戻ります。

入力切替ボタン
テレビ側の入力を切換えます。
※テレビを操作

消音ボタン
音声をミュートにします。
※テレビを操作

チャンネルボタン
チャンネルのアップ・ダウンをします。登録されているチャンネルを順番に表示します。

電源ON/OFFボタン
本体の電源をオン/オフします。

番組表ボタン
番組表を表示します。

▲▼◀▶ボタン
項目を移動します。

メニューボタン
機能メニューが表示されます。

音量ボタン
テレビの音量を操作します。
※テレビを操作

字幕ボタン
字幕表示のオン・オフを切換えます

音声ボタン
音声を切替えます。

ズームボタン
画面サイズを切替えます。

●画面表示/番組情報ボタンについて
番組表を表示中に押すと、番組詳細情報を表示します。
それ以外の時に押すと、現在のチャンネル情報を表示します。

●音声ボタンについて
番組視聴中に音声ボタンを押すと、主音声・副音声・主+副を切替えます。副音声に対応していない番組を視聴中に押すと、番組の音声がステレオ放送か、モノラル放送かを表示します。

●ズームボタンについて
番組視聴中にズームボタンを押す度に、「ノーマル」→「フル」→「ズーム」に切替えます。但し、画面サイズ設定がワイド設定になっていると、この機能は使用できません。ズーム機能をご使用の場合はノーマル設定にしてください。

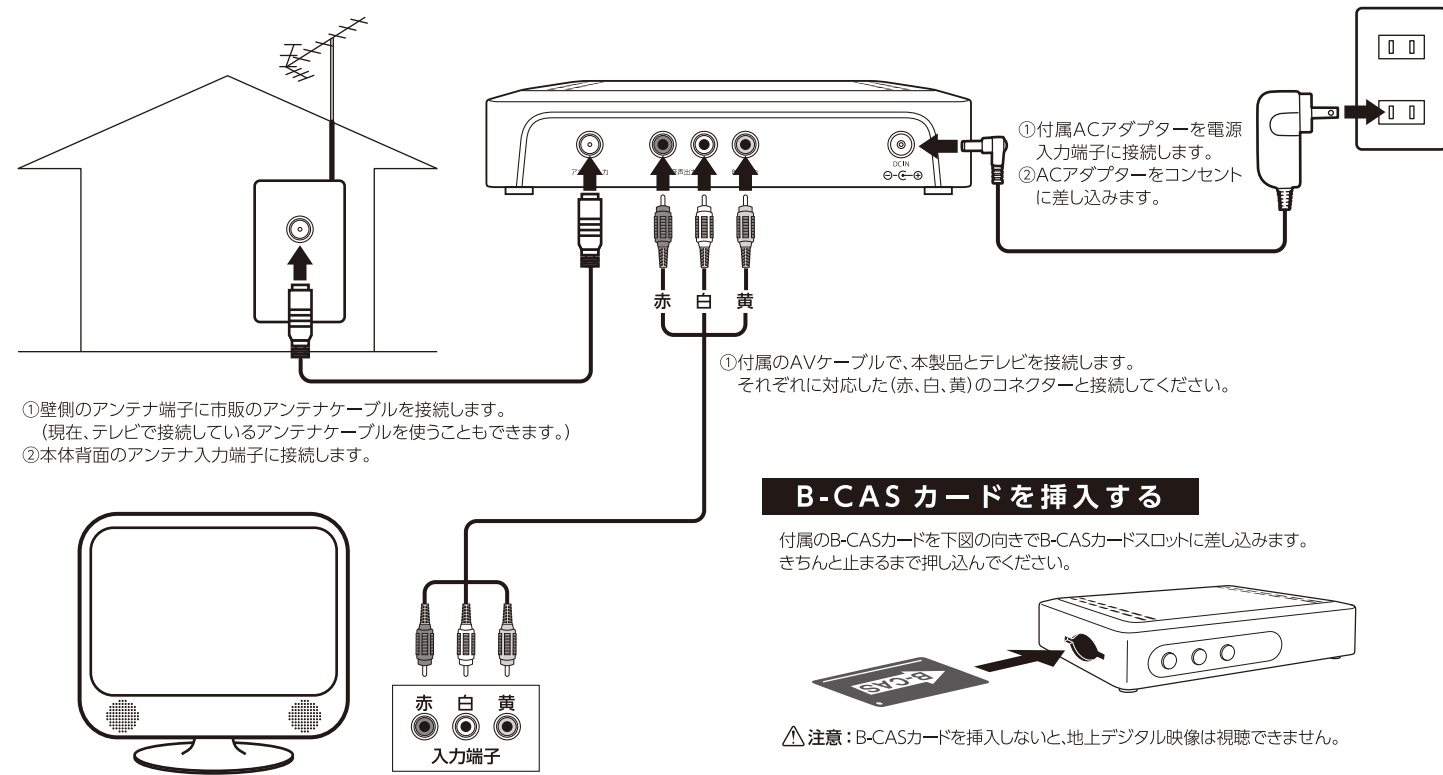
使用前の準備

本体にケーブルをつなぐ

●下図を参考に本機器と各部所を正しく接続してください。

①壁側のアンテナ端子に市販のアンテナケーブルを接続します。
（現在、テレビで接続しているアンテナケーブルを使うこともできます。）
②本体背面のアンテナ入力端子に接続します。

①付属のAVケーブルで、本製品とテレビを接続します。
それぞれに対応した(赤、白、黄)のコネクターと接続してください。

①付属ACアダプターを電源入力端子に接続します。
②ACアダプターをコンセントに差し込みます。

B-CAS カードを挿入する

付属のB-CASカードを下図の向きでB-CASカードスロットに差し込みます。
きちんと止まるまで押し込んでください。

⚠ **注意：**B-CASカードを挿入しないと、地上デジタル映像は視聴できません。

リモコンの設定

リモコンでテレビメーカーを設定する

本機器のリモコンで、メーカーのテレビを操作できます。テレビを操作するには、以下の設定を行ってください。

対応するテレビメーカー
パナソニック、シャープ、ソニー、東芝、日立、三菱電機、三洋電機、ビクター

①テレビの電源をオフにします。
②**テレビ電源ON/OFFボタンを押したまま「10」**または**「1」**を押し、次に**各メーカーの番号**を押します。各メーカの番号はリモコンの裏面に表示されています。
例:パナソニック=1
テレビ電源ボタンを押しながら、番号の10→1の順に押す。
※本機器のリモコンで、テレビの「電源ON/OFF」、「入力切替」、「音量調整」、「消音」の操作ができます。機種によっては動作しない場合があります。

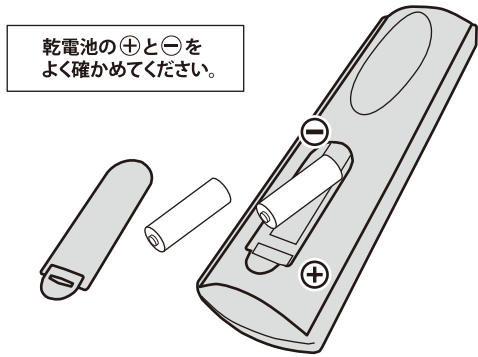
メーカー番号表

パナソニック1	10を押してから1	日立1	1を押してから1
パナソニック2	10を押してから2	日立2	1を押してから2
シャープ1	10を押してから4	三菱1	1を押してから4
シャープ2	10を押してから5	三菱2	1を押してから5
ソニー1	10を押してから7	三洋1	1を押してから6
ソニー2	10を押してから8	三洋2	1を押してから7
東芝1	10を押してから9	ビクター1	1を押してから8
東芝2	10を押してから10	ビクター2	1を押してから9

⚠ **注意：**リモコンの電池を外すと、設定は初期状態に戻ります。

リモコン電池の交換方法

①リモコンの電池カバーを空けます。
②単4形乾電池2本を入れます。
（電池のプラス/マイナス極をよくご確認し、正しく入れてください。）
③電池カバーを元に戻します。

乾電池の⊕と⊖をよく確かめてください。

※リモコン操作について
リモコンは、本体の受光部から左右30°以内の角度、約5〜6m以内の距離で操作してください。

使 用 方 法

メニュー画面説明

本機器のを初めて使用するときは、チャンネルスキャンが必要です。チャンネルスキャンをする前には、「受信レベルが低下しました。アンテナ線を確認してください」と画面に表示されますが、チャンネルスキャンをすると、表示されなくなります。

受信設定

本製品を使用する前に、必ず「地域設定」と「チャンネル自動設定」をしてください。

受信設定 | 機器設定
地域設定(埼玉)
チャンネル自動設定
チャンネル追加設定
リモコン設定
チャンネルスキップ
受信レベル

①リモコンの「メニュー」ボタンを押すと機能メニューが表示されます。「◀▶」を押して「受信設定」を選んでください。
②「▲▼」を押してメニューの中から確認したい項目を選び、決定ボタンで選択します。

《地域設定》

受信設定 | 機器設定
> 地域設定
地域設定(埼玉) / チャンネル自動設定 / チャンネル追加設定 / リモコン設定 / チャンネルスキップ / 受信レベル
北海道 / 東北 / 関東 / 信越／北陸 / 中部／東海 / 近畿 / 中国／四国 / 九州／沖縄

ご使用になる地域を設定します。
①お住まいのエリア(北海道、東北、関東など)を選択します。
②次に詳細な地域(東京、千葉など)を選択します。

《チャンネル自動設定》

受信設定 | 機器設定 | 各種情報表示 | テスト
> チャンネル自動設定
地域設定(埼玉) / チャンネル自動設定 / チャンネル追加設定 / リモコン設定 / チャンネルスキップ / 受信レベル
受信できる放送局を自動的に登録します。
(チャンネルの設定が変わることがあります)
探す(全チャンネル)
探す(UHF 13〜62CH)
やめる
受信できるチャンネルを探します。
(矢印)で選択・(決定)で設定・(戻る)で前画面・(メニュー)で終了

チャンネルスキャンをします。
「全チャンネルスキャン」か「UHFスキャン」を選択します。通常は「全チャンネルスキャン」を選択してください。UHFアンテナのみ接続しているときは、「UHFスキャン」でも問題ありません。
スキャンは初回起動時に1度行えば2度目以降は必要ありません。

《チャンネル追加設定》

受信設定 | 機器設定 | 各種情報表示 | テスト
> チャンネル追加設定
地域設定(埼玉) / チャンネル自動設定 / チャンネル追加設定 / リモコン設定 / チャンネルスキップ / 受信レベル
受信できる放送局を自動的に登録します。
(チャンネルの設定が変わることがあります)
探す(全チャンネル)
探す(UHF 13〜62CH)
やめる
受信できるチャンネルを探します。
(矢印)で選択・(決定)で設定・(戻る)で前画面・(メニュー)で終了

「チャンネル自動設定」を行った後に、追加チャンネルスキャンを行うときに使用します。
「チャンネル追加設定」を行うと、追加できるチャンネルがあるときに、元のリストに追加されます。スキャンの状況によってはチャンネル設定が変更になることがあります。

《リモコン設定》

受信設定 | 機器設定 | 各種情報表示
> リモコン設定
地域設定(埼玉) / チャンネル自動設定 / チャンネル追加設定 / リモコン設定 / チャンネルスキップ / 受信レベル
ボタン 放送局
1 NHK総合・東京
2 NHK教育・東京
3 (割り当てなし)
4 日本テレビ
5 テレビ朝日
6 TBS
7 テレビ東京
8 フジテレビジョン
▼

リモコンのチャンネル番号を変更するときに使用します。

《チャンネル追加設定》

受信設定 | 機器設定 | 各種情報表示
> チャンネルスキップ
地域設定(埼玉) / チャンネル自動設定 / チャンネル追加設定 / リモコン設定 / チャンネルスキップ / 受信レベル
放送局
□ NHK総合・東京
□ NHK教育・東京
□ 日本テレビ
□ TBS
□ フジテレビジョン
□ テレビ朝日
□ テレビ東京
□ 放送大学
□ TOKYO MX
□ としまテレビ

受信可能なチャンネルリスト。
①追加したいチャンネルを「▲▼」で選択します。
②次に決定ボタンを押します。

《受信レベル》
受信可能なチャンネルの受信レベルを受信できます。
確認したいチャンネルを「▲▼」で選択し、決定ボタンを押します。
※表示される受信レベルは参考の値です。

機器設定

「暗証番号」「字幕・文字スーパー」「音声切替」「番組表取得設定」「画面サイズ設定」の設定変更ができます。
①リモコンの「メニュー」ボタンを押すと機能メニューが表示されます。「◀▶」を押して「機能設定」を選んでください。
②を押してメニューの中から確認したい項目を選び、決定ボタンで選択します。

《暗証番号》
本体に設定されている暗証番号を変更できます。
変更後の暗証番号は、忘れないようにメモをしてください。
※暗証番号の初期設定は「9999」
《字幕・文字スーパー》
字幕や文字スーパーの設定を変更できます。
「なし」「第1言語」「第2言語」の3つから選べます。
※視聴している番組が字幕に対応していない場合には表示されません。
《音声切替》
音声を「主音声」「副音声」「主+副」から選択できます。
※視聴している番組が副音声に対応していない場合には、切替わりません。
《番組表取得設定》
番組表を取得するか、しないか設定できます。
※番組表を取得する場合、時間がかかる場合があります。
《画面サイズ設定》
画面サイズを「ノーマル」、「ワイド」から選択できます。

機器設定

解像度や明るさ、「B-CAS」「バージョン情報」「放送メール」の内容を確認できます。
①リモコンの「メニュー」ボタンを押すと機能メニューが表示されます。「◀▶」を押して「各種情報表示」を選んでください。
②「各情報メニュー」を表示し、「▲▼」を押して「B-CAS」「バージョン情報」「放送メール」の中から項目を選び、決定ボタンで選択します。

《B-CAS情報》
挿入されているB-CASカードの情報を表示します。
《バージョン情報》
本体のファームウェアのバージョンを確認できます。
《放送メール》
放送メールを表示します。

機器設定

「B-CASカードのメニュー」と「全設定消去」ができます。
①リモコンの「メニュー」ボタンを押すと機能メニューが表示されます。「◀▶」を押して「テスト」を選んでください。。
②「▲▼」を押して「B-CASテスト」または「全設定消去」を選び、決定ボタンで選択します。

《B-CASテスト》
挿入されているB-CASカードに問題がないか、テストします。
《全設定消去》
有効にしている設定を消去し、工場出荷時の状態に戻します。
「全設定消去」を行うには、暗証番号の入力が必要です。
※暗証番号の初期設定は「9999」です。